

し、いずれも無処理対照区と差を認めていない。

以上の試験のみで断定することはできないが、光崩壊性フィルムの子き込みが作物の出芽、生育とくに根の伸長に全く影響がないとはいえないようである。この種の問題の検討のためには、多くの試験の積み重ねが必要であり、光崩壊性フィルムを用いた試験を実施した場合には、そのフィルム混入の後作に対する影響を調査することが要望された。それら試験成績の蒐集、整理は農事試験場畑作部作業体系第1研究室が担当することにした。それらに関するデータについては、筆者あて送付されたい。

(2) 土壤環境に対する影響

農事試では、前述した千葉農試が作った各種フィルムの粉末を混入、試験した土壌を用いて、風乾後、土壌微生物に対する影響などを無処理対照区と比較調査した。その結果、

① pH 処理間の差はなかった。

② CO₂ 発生量. 全インキュベーション期間 (30 日) の発生量でみると、ピボラックフィルムおよびサンブラックフィルムともそれぞれ1年分を混入した区では減少したが、畑の定常状態である定常期では差は少なく、CO₂ 発生量に及ぼす影響は比較的小さかった。

③ 硝化作用. 全インキュベーション期間の平均でみると、NO₃-N の生成量は前述したピボラックおよびサンブラックフィルム1年分混入区で少なく、とくに後者では定常期でも差が認められた。

④ 根粒発生. 根粒着生初期段階の調査であるが、一般的に混入区で少ない傾向を示した。

以上の結果から、フィルム混入が土壌微生物活動に対して何らかの影響があるものと考えられ、今後の検討が要望された。

昭和52年度水稲作関係除草剤 試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和52年度水稲作関係除草剤の適用性試験成績中央検討会は昭和52年12月14、15の両日、日本都市センターに於いて開催した。その結果を報告する。

1. 供試除草剤の動向

本年度の適用性試験の委託総点数は約860点、ここ3年間はほぼ前後した点数が試験されている。移植栽培の対象は前年度より稚苗移植栽培に移り、成苗移植栽培は適用条件の部分的な拡充、整理のために行われるに過ぎず、本年度は

1 剤が試験されたのみで、稚苗移植栽培にのべ99剤が供試された。その他は湛水直播栽培に1剤、乾田直播栽培に4剤、畦畔雑草対策用として4剤、耕起前雑草防除を対象として3剤が試験され、合計 (のべ) 112 剤が委託実施された。

2. 試験結果の概要

本年度供試薬剤の判定結果は、第1表の通りである。供試薬剤総数は前述した通り112剤で、「実」の判定は7剤、「実および継」の判定は72剤で、これら両者の比率は全体の70%に該当

する。また、「継」の判定は33剤で、「継？」， の作成されたものは、第2表に一覧表として掲
「中止」の判定薬剤は皆無であった。使用基準 載した。

第1表 昭和52年度 水稻作関係除草剤適用性試験結果判定表

区 分	判 定	実	実 お よ び 継	継
I-5. 成苗 適用時期 拡 大		BAS-3510(酸),		
II-1. 稚苗 土壌混和 処 理		G-315乳,	RH-2915粒, G-315・PS, B-3015 ^④ 乳, X-150液, ブタクロール乳, G-315・B乳,	
II-2. 稚苗 移植前後 土壌処理		ブタクロール粒, BM-3015粒, X-52粒.	G-315・SK粒, MTS-1粒, X-150粒, X-52・SK-23粒, B-3015・SK粒, SW-751粒, X-52粒, MC-79粒, SST-5粒, CM-202粒, CM-301粒, MTS-1 ^④ 粒, MTS-2 ^④ 粒, MS-8 ^④ 粒, X-52B粒.	OG-113粒, HOK-761粒, X-151粒.
II-3. 稚苗 移植後 土壌処理			NKB-1粒, MTB-3015 ^④ 粒, YH-3粒, モリネートM粒, MSW-1粒, MM-2粒.	AH-1粒, AH-2粒, AH-11粒, SR-771粒.
II-4. 稚苗 茎葉兼 土壌処理			TH-63粒, YH-5粒, モリネートSM粒, S-28・SM粒, B-3015・S・MCPB粒, KH-195粒, CG-102粒.	OF-296粒, TIH-76粒, SKH-51・SM粒, CH-16G粒, KH-199粒, KPW-2粒, KPW-4粒, AH-4粒, AH-15粒, AH-16粒.
II-5. 稚苗 適用時期 拡 大		MCC・M15粒, HOK-05A粒.	B-3015・S・MCPB粒, B-3015・S・BAS粒, N-301粒, MCP・BAS ^④ 粒, 2・4 PA・BAS ^④ 粒, TIH-76粒, TH-63(Na)粒, YH-5粒, モリネート・SM粒, プロメトリン・MCPB粒, KH-195粒, KH-199粒, HOK-05B粒, HOK-06粒, S-28・SM粒, BAS-3510(酸)粒, BAS-3510(Na)液, BAS-3510(酸)水和, MT-101粒, TNY-53粒, SMX粒, SMX ^④ 粒, シメトリン・MCPB 2・3粒, シメトリン・MCPB 2・8粒, CG-102粒, TH-63粒, AON粒, 改良SC-7616粒, MCP・BAS粒, 2, 4 PA・BAS粒.	CG-113粒, KPW-2粒, KPW-4粒, SKH-51・SM粒, CH-16G粒, BAS-3510(Na)微粒, BAS-3510(Na)微粒(動力機械散布), AH-1粒, AH-2粒, AH-4粒, AH-15粒, AH-16粒.
III-1. 湛水直播				SW-751粒.
III-2. 乾田直播			B-3015・P粒, B-3015・P乳, S-28 P乳, B-3015 ^④ 乳.	
IV. 畦畔雑草			P-412水和.	SL-501液, OK-622液, HW-45A水和.

判定 区分	実	実 お よ び 継	継
V. 耕起前		MON-39液, OK-621液, OK-622液.	

第2表 昭和52年度 水稲作関係実用化除草剤使用基準一覧表

薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意	
Ⅰ 5. 成苗・適用時期拡大	1) BAS-3510(酸)粒	茎葉処理	全域の普通期.	一年生非イネ科, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヘラオモダカ.	一年生非イネ科 ; 発生盛～揃期まで, ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ ; 発生盛～増殖初期まで.	㊦ g/a 300～600	砂壤土～埴土 (1.5cm/日以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 浅水若しくは落水状態で散布し, 48～72時間後に灌水する.
			温暖地東部の早期.	一年生非イネ科, ウリカワ, ミズガヤツリ.				
Ⅱ 1. 土壌混和処理	1) RH-2915粒	土壌混和処理	寒地, 寒冷地および暖地の普通期.	一年生雑草, マツバイ.	荒代前又は荒代時 (-2～-7).	㊦ g/a 300～400 〔但し, 暖地は250～300〕	埴土～埴土 (2cm/日以下)	1) 混和深が浅いと薬害の恐れがあるのでロータリ-混和とする. 2) 混和はていねいにする. 3) 落水後移植を厳守のこと.
			温暖地東部の普通期.	一年生雑草, マツバイ.	荒代前 (-5～-3).	200～300 大型圃場300		
	2) G-315PS	土壌混和処理	全域の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ヘラオモダカ (寒地のみ).	植代直後 (にごり水時), (-6～-1).	㊦ 枚/a 2	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	1) 強風のときは使用をさしひかえる. 2) 10 a 以下均平水田で使用する. 3) 水深3～5cm.
	3) B-3015(乳)	土壌混和処理	温暖地以西の普通期.	一年生雑草, マツバイ.	植代直前直後 (-4～-1).	㊦ ml/a 50	埴土～埴土 (2cm/日以下)	1) B-3015乳剤に準ずるが, 均一散布に十分に留意する.
	4) X-150液	土壌混和処理	温暖地の普通期.	一年生雑草, マツバイ.	植代直後 (-4～-3).	㊦ ml/a 60～80	埴土～埴土 (2cm/日以下)	
5)ブタクロール300乳	土壌混和処理	寒 地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	植代直後 (-4～-3).	㊦ ml/a 45～50	埴土～埴土 (1cm/日以下)	1) 低気温および低水温時の使用は薬害の危険性があるので使用をひかえる. 2) ごく浅植の場合薬害のおそれがある.	
		寒冷地, 温暖地東部の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ.	植代直後 (-4～-3).	35～45			
		温暖地西部	一年生雑草, マ	植代直後 (-4	35～50			

薬 剤 名		処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ－1. 稚 苗 － 土 壌 混 和 処 理 (つづき)	5)ブタクロール(つづき)		以西の普通期.	ツバイ.	～－3).			
	6) G－315 乳 土 壌 混 和 処 理	全域の普通期.	一年生雑草, マツバイ.	植代直前直後(－3～－1).	㊥ml/a 50	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	1) 混和時の水深3～5cm. 2) 混和深2～3cm. 3) 吸着の悪い土壌(砂壤土, 腐植含量の少ない土壌)では水の動きの少ない場合は薬害の危険性があるので十分注意する.	
		温暖地の早期.			50	埴土～埴土 (2cm/日以下)		
		暖地の早期. 〔沖縄県の1期作も含む.〕			36～50			
		温暖地以西の普通期.			50	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)		
	7) G－315 B 乳 土 壌 混 和 処 理	寒 地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	植代直前直後(－3～－1).	㊥ml/a 50～65	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	1) 混和時の水深3～5cm. 2) 混和深2～3cm. 3) 吸着の悪い土壌(砂壤土, 腐植含量の少ない土壌)では水の動きの少ない場合に薬害の危険性があるので十分注意する.	
	寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ.	50 温暖地以西					
	温暖地東部の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ミズガヤツリ.						
	温暖地西部以西の普通期.	一年生雑草, マツバイ.						
		暖地の早期.	一年生雑草, マツバイ, ミズガヤツリ.					
Ⅱ－2. 稚 苗 ・ 移 植 前 後 土 壌 処 理	1) G－315・SK 粒 土 壌 処 理	寒 地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	－3 ～ ＋5 (ノビエ1Lまで). ホタルイ・ヘラオモダカ; 発生前～始まで.	㊥ g/a 300	埴土～埴土 (2cm/日以下)		
	寒冷地, 温暖地東部の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ.						
	2) MTS－3) 1 粒 土 壌 処 理	全域の普通期, 早期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, クログワイ(但し, クログワイは温暖地の普通期のみ).	－3 ～ ＋7 (ノビエ1Lまで). ホタルイ; 発生前～始まで. クログワイ; 発生前～始まで.	㊥ g/a 300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	1) クログワイ防除はクログワイにも有効な後処理剤と組み合わせ使用する.	
	4) X－150 粒 土 壌 処 理	寒地, 寒冷地, 温暖地西部および	一年生雑草, マツバイ.	－3 ～ ＋7 (ノビエ1Lまで).	㊥ a 300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	1) 暖地のコナギ多発田では早目に処理する.	

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
II 2. 稚 苗 ・ 移 植 前 後 土 壌 処 理	4) X-150 粒 (つづき)	暖地の普通 期.		〔但し、暖地は +0～ノビエ 1Lまで.〕		〔但し、寒 冷地は砂 壤土を含 む〕	
		寒地、寒令 地.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタルイ.	-3 ～ +7 (ノビエ1Lまで). ホタルイ・ヒメ ホタルイ；発生 前～始. ミズガヤツリ； 発生前～3L.	㊤ g/a 300 〔但し、 寒地は 300～ 400〕	壤土～埴土 (2cm/日 以下) 砂壤土 (2cm/日 以下)	1) X-52粒剤に準ずる.
		温暖地東部 の普通期・ 早期.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヒメホタル イ、ミズガヤツリ.				
		温暖地西部 の普通期.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヒメホタルイ.				
		暖地の普通 期.	一年生雑草、マツ バイ、ホタルイ.				
		暖地の早期.	一年生雑草、マ ツバイ、ミズガ ヤツリ、ホタルイ.				
	7) B- 3015・ SK 粒 剤	寒冷地、温 暖地東部の 普通期・早 期.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ.	-3, +3～+7 (ノビエ1Lまで). 〔但し、暖地は 1.5Lまで.〕	㊤ g/a 300～ 400	埴土～埴土 (2cm/日 以下)	
		暖地の普通 期.	一年生雑草、マ ツバイ.				
	8) SW- 9) 751 10) 粒 11)	寒 地.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタルイ、 ヘラオモダカ.	-3 ～ +7 〔但し、暖地の 早期は+0～ +7、ノビエ 1Lまで. 寒地～温暖地 東部はノビエ 1Lまで. 温暖地西部は 1.5Lまで、 暖地は2Lま で、 温暖地西部の 早期は1Lま で. ホタルイ；発生 前～始. ヘラオモダカ・ ウリカワ；発生 前～2L. ミズガヤツリ・ オモダカ；発生 前～始.	㊤ g/a 300～ 400	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下) 〔但し、寒 地は埴土 ～埴土 (2cm/ 日以下)〕	
		寒冷地.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ、 ミズガヤツリ、 オモダカ.				
		温暖地東部 の普通期・ 早期.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ、 ミズガヤツリ.				
		温暖地西部 以西の普通 期.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ.				
		温暖地西部 の早期.	一年生雑草、マ ツバイ、ウリカワ.				
		暖地の早期.	一年生雑草、マ ツバイ、ウリカ ワ、ミズガヤツリ.				

薬 剤 名	処理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意	
Ⅱ 2. 稚 苗 ・ 移 植 前 後 土 壌 処 理 (つづき)	12) X-52 水和	土 壌 処 理	寒冷地以西の普通期、温暖地東部の早期。	一年生雑草、マツバイ。	移植当日(±0)。	㊟ g/a 30	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	1) 移植前後に滴下処理する。 2) 水稻移植直後の場合は水稻の茎葉にかからないようにする。
	13) MC-79 粒	土 壌 処 理	寒地、寒冷地、温暖地の普通期、温暖地東部の早期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ。	-3～+8 〔但し、寒冷地は-7～+8 (ノビエ1Lまで)〕 ホタルイ・ヘラオモダカ；発生前～始まで。	㊟ g/a 300～400	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	
			温暖地西部の早期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ。				
			暖地の普通期。	一年生雑草、マツバイ。				
	14) SST-5 粒	土 壌 処 理	寒地、寒冷地、温暖地の普通期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ。	+0～+5 (ノビエ1Lまで)。 ホタルイ；発生前～始まで。	㊟ g/a 300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	
			暖地の普通期。	一年生雑草、マツバイ。				
	16) CM-202 粒	土 壌 処 理	寒冷地、温暖地東部の普通期・ <u>早期</u> 。	一年生雑草。	-3～ノビエ1Lまで。	㊟ g/a 300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	1) ONPに準ずる。
			温暖地西部以西の <u>普通期</u> 、 <u>温暖地西部の早期</u> 。	一年生雑草。	+0～ノビエ1Lまで。			
	17) CM-301 粒	土 壌 処 理	寒冷地以西の普通期、温暖地東部の早期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ。	-3～ノビエ1Lまで。 ホタルイ；発生前～始まで。	㊟ g/a 300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	1) ONPに準ずる。
	18) MTS-1④ 粒	土 壌 処 理	寒地、寒冷地、温暖地の普通期、暖地の早期。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ。	-3～ノビエ1Lまで。 ホタルイ；発生前～始まで。	㊟ g/a 300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	1) ONPに準ずる。
	19) MTS-2④ 粒	土 壌 処 理	寒地、寒冷地。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ。	-3～ノビエ1Lまで。 ホタルイ；発生前～始まで。	㊟ g/a 300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	1) ONPに準ずる。
	22) ブタク ロール 粒	土 壌 処 理	寒 地。	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ。	-8～+10 (ノビエ1.5Lまで)。 ホタルイ；発生前～2L。 ヘラオモダカ；発生前～始。	㊟ g/a 200～300	埴土～埴土 (2cm/日以下)	1) 極端な浅植えはさける。 2) 低温時には使用しない。 3) 200g/a 散布は多口ホース散布とする。

薬 剤 名	処理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
II 1. 2. 稚 苗 ・ 移 植 前 後 土 壌 処 理 (つづ き)	22) プタク ロール 粒 (つづ き)	寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ミズガヤツ リ, ヘラオモダカ.	- 6 ~ - 3. ミズガヤツリ; 発生前~3L. ホタルイ; 発生 前~2L. ヘラオモダカ; 発生前~始.	200 ~ 300		
			一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ミズガヤツ リ.	+ 3 ~ +10 (ノビエ3Lまで). ホタルイ; 発生 前~2L. ミズガヤツリ; 発生前~3L.	300		
		温暖地の普 通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ミズガヤツ リ.	- 6 ~ - 3, + 3 ~ +10 (ノビエ1.5L まで). ホタルイ; 発生 前~2L. ミズガヤツリ; 発生前~3L.	200 ~ 300 [+ 3 ~ + 10は 300]		
			一年生雑草, マ ツバイ.	- 6 ~ - 3.	200 ~ 300		
		暖地の早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ミズガヤツリ.	+ 3 ~ +10 (ノビエ1.5L まで). ホタルイ; 発生 前~2L. ミズガヤツリ; 発生前~3L.	300		
			一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ミズガヤツ リ.	+ 3 ~ +10 (ノビエ1.5L まで). ホタルイ; 発生 前~2L. ミズガヤツリ; 発生前~3L.	300		
		暖地の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ミズガヤツ リ.	+ 3 ~ +10 (ノビエ1.5L まで). ホタルイ; 発生 前~2L. ミズガヤツリ; 発生前~3L.	300		
			一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ミズガヤツ リ.	+ 3 ~ +10 (ノビエ1.5L まで). ホタルイ; 発生 前~2L. ミズガヤツリ; 発生前~3L.	300		
		寒 地.	一年生雑草, マツ バイ, ホタルイ.	- 3 ~ + 3 (発生前).	㊟ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2cm/日 以下)	
			寒冷地, 温 暖地の普通 期.	- 3 ~ + 5 (ノビエ1.0L まで). ホタルイ; 発生 前~始.			
24) BM- 3015 粒	土 壌 処 理	寒冷地以西 の普通期, 温暖地東部 の早期.	一年生雑草, マ ツバイ.	- 4 ~ +10 (ノビエ1.5L まで).	㊟ g/a 300 ~ 400	砂壤土~埴 土 (極端な 漏水田は 除く)	

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ 1. 稚 苗 ・ 移 植 前 後 土 壌 処 理 (つづき)	24) BM-3015 粒 (つづき)		(沖縄県の一期作も含む)。				
	25) X-52 粒	土 壌 処 理	全域の普通期, 早期。 (沖縄県の一期作も含む)。	一年生雑草, マツバイ,	-3~+8 (ノビエ1Lまで)。	㊟ g/a 300 ~ 400	砂壤土~埴土 (極端な漏水田は除く)
	26) X-52 B④ 粒	土 壌 処 理	寒 地。	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ。	-3~-2, +2~+7 (ノビエ1Lまで)。 ホタルイ; 発生 前~1 L。 ヘラオモダカ; 発生前~2L。	㊟ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2cm/日 以下)
			寒冷地, 温暖地の普通期, 温暖地東部の早期。	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ。			
			暖地の普通期。	一年生雑草, マツバイ。	-3 +2~ノビエ2 Lまで。		
Ⅱ 3. 稚 苗 ・ 移 植 後 土 壌 処 理	1) NKB-1 粒	土 壌 処 理	寒冷地以西の普通期。	一年生雑草, マツバイ。	+2~ノビエ2 Lまで。	㊟ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (1.5cm/日以下)
	2) MTB-3015④ 粒	土 壌 処 理	寒 地。	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ。	+2~ノビエ2 Lまで。 ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ; 発生始~2 L。	㊟ g/a 300 ~ 400	砂壤土~埴土 (2cm/日以下)
			寒冷地。	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, ウリカワ, ミズガヤツリ。			
			温暖地以西の普通期, 温暖地東部および暖地の早期。	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ。			
	3) YH-3 粒	土 壌 処 理	寒冷地。	一年生雑草, マツバイ, ミズガヤツリ。	+3~+7 (ノビエ1Lまで)。 ミズガヤツリ; 発生始~2L。	㊟ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2cm/日以下)
			温暖地東部の普通期・早期。	一年生雑草, マツバイ。			
	4) モリネートM 粒	土 壌 処 理	寒冷地, 温暖地東部の普通期, 早期, 暖地の早期。	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ミズガヤツリ。	0~+6 (ノビエ1.5 Lまで)。 ホタルイ・ミズガヤツリ; 発生前~始。	㊟ g/a 300 ~ 400	壤土~埴土 (2cm/日以下)

薬 剤 名	処理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
II 1.3. 稚 苗 ・ 移 植 後 土 壌 処 理 (つづき)	4) モリネ ートM 粒 (つづき)		暖地の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ.			
	6) MSW- 1 粒	土 壌 処 理	寒冷地以西 の普通期・ 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカ ワ. 一年生雑草, マ ツバイ, ウリカ ワ.	+3~+7 (ノビエ1.5 L まで). ウリカワ; 発生 始~2 L.	㊟ g/a 300 ~ 400 壌土~壌土 (2cm/日 以下) 〔但し, 暖地 早期は砂壌 土~壌土 (2cm/日 以下)〕	
	7) MM-2 粒	土 壌 処 理	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダカ.	+3~+7 (ノビエ1.5 L まで). ホタルイ・ヘラ オモダカ・ウリ カワ; 発生始~ 2 L.	㊟ g/a 300 ~ 400 寒地, 寒冷 地, 温暖地 西部は 壌土~壌土 (1.5cm/日 以下) 〔但し, 温暖 地東部およ び暖地は壌 土~壌土 (1cm/日 以下)〕	1) ブタクロール粒剤に準 ずる.
II 1.4. 稚 苗 ・ 茎 葉 兼 土 壌 処 理	3) TH-63 (Na) 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	温暖地以西 の普通期, 温暖地東部 の早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ.	+8~ノビエ2.5 L (+10頃) ま で. ホタルイ・ミズ ガヤツリ; 発生 始~5 L. ウリカワ; 発生 盛~4 L.	㊟ g/a 300 壌土~壌土 (2cm/日 以下) 暖地のみ, 砂壌土(1 cm/日以 下)も含む.	1) シメトリン混合剤と同 様の使用上の注意をまも る. 2) 落水, 浅水処理で効果 が高い.
	6) YH-5 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	温暖地の普 通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ.	+10~ノビエ 2 L (+15頃) まで.	㊟ g/a 300 ~ 400 壌土~壌土 (2cm/日 以下)	1) シメトリン混合剤の使 用上の注意をまもる.
	7) モリネ ートSM 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカワ.	+15~ノビエ3.5 L まで.	㊟ g/a 300 ~ 400 砂壌土~壌 土 (2cm/日 以下)	1) シメトリン混合剤の使 用上の注意をまもる. 2) 低温時の使用は葉害発 生の危険性があるので使 用はさしひかえる.
			温暖地東部 の普通期・ 早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヒメホタルイ.	〔但し, 寒冷地 はイネ5.0 L 以降. 暖地は イネ6.0 L以 降.〕		
			温暖地西部 の普通期, 暖地の早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, ミズガヤツリ.	ホタルイ; 発生 始~5 L. ウリカワ; 発生 盛~6 L. ヘラオモダカ・ ミズガヤツリ; 発生始~4 L.		

薬 剂 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ — 4. 稚 苗 ・ 茎 葉 兼 土 壌 処 理 (つづき)	7) モリネ ート・S M 粒 (つづき)			ヒメホタルイ; 10 cm 以内.		壤土～埴土 (2 cm/日 以下)	
		暖地の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ, <u>ミズガヤツリ</u> .				
	9) S-28 ・S M 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	温暖地の普 通期, 温暖 地東部の早 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ヘラオ モダカ, ウリカ ワ. 〔但し, 温暖地 東部の早期は <u>+15</u> ～ノビエ 2.5 L. ヘラオモダカ・ ウリカワ; 発生 始～4 L.	㊞ g/a 300 ～ 400	壤土～埴土 (2 cm/日 以下)	1) シメトリン混合剤の使 用上の注意をまもる.
			温暖地の普 通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ウリカワ, ミズガヤツリ.			
	12) B- 3015・S ・MCPB 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒冷地, 温 暖地東部の 普通期早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, ウリカワ, ミズガヤツリ. 〔寒冷地はイネ 5.0 L 以降, 暖地はイネ6.0 L 以降, ノビ エ3.5 L まで.]	㊞ g/a 300 ～ 400	壤土～埴土 (2 cm/日 以下)	1) シメトリン混合剤の使 用上の注意をまもる. 2) 低温時の使用は葉害発 生の危険性があるので使 用はさしひかえる.
			温暖地西部 の普通期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ. ホタルイ・ヘラ オモダカ・ミズ ガヤツリ; 発生 始～4 L.			
			暖地の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ, ウリカワ. ウリカワ; 発生 盛～5 L.			
	13) K H- 195 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	温暖地以西 の普通期, 温暖地東部 の早期.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ウリカワ. 〔但し, 暖地は <u>+7</u> ～ノビエ 2.5 L まで.] ホタルイ; 発生 始～3 L. ウリカワ; 発生 始～3～4 L.	㊞ g/a 300 ～ 400	壤土～埴土 (2 cm/日 以下)	1) 低温時の使用は葉害発 生の危険性があるので使 用はさしひかえる. 2) コナギ多発田では早目 (2 L まで)に使用する.
17) O G- 102 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒 地.	一年生雑草, マ ツバイ, ホタル イ, ヘラオモダ カ, <u>アオミドロ</u> .	+8～ノビエ2.5 L まで. 〔但し, 寒地は <u>+7</u> ～ノビエ 2 L, 寒冷地 は+10～ノビ エ2.5 L. ホタルイ・ヘラ オモダカ; 発生 始～2 L.	㊞ g/a 300	壤土～埴土 (2 cm/日 以下)	1) シメトリン混合剤の使 用上の注意をまもる.
		寒冷地.	一年生雑草, マ ツバイ, ヘラオ モダカ, <u>アオミ ドロ</u> .				
		温暖地の普	一年生雑草, マ				

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
II 4. 稚苗・茎葉兼土壌処理(つづき)	17) CG-102 粒 (つづき)	通期, 温暖地東部の早期. 暖地の普通期・早期.	ツバイ, <u>アオミドロ</u> , <u>ウキクサ</u> . 一年生雑草, マツバイ.				
II 5. 稚苗・適用時期拡大	(4) B-3015・S・MCPB 粒	寒 地. 寒冷地. 温暖地東部の普通期・早期. 温暖地西部以西の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ, <u>ウリカワ</u> . 一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ヘラオモダカ, ミズガヤツリ, オモダカ. 一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ, オモダカ. 一年生雑草, マツバイ, ウリカワ.	田植前後土壌処理をした場合, +20 ~ +30 (ノビエ3 L). 〔但し, 寒地はノビエ2.5 L, 寒冷地以北はイネ5 L以降.〕 ホタルイ・ウリカワ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ; 発生始 ~ 4 L. オモダカ; 発生始 ~ 2 L. +20 ~ +25 (ノビエ3 Lまで). ホタルイ; 発生始 ~ 4 L. ウリカワ; 発生始 ~ 5 L.	㊟ g/a 300 ~ 400 〔但し, 寒地は300〕	壤土 ~ 埴土 (2 cm/日以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意を守る. 3) 低温時は葉害発生の危険があるので使用はひかえる.
	(5) B-3015・S・BAS 粒	茎葉兼土壌処理 寒冷地.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ.	田植前後土壌処理をした場合, +20 ~ +25 (ノビエ2.5 Lまで). ホタルイ; 発生始 ~ 3 L.	㊟ g/a 300 ~ 400	壤土 ~ 埴土 (2 cm/日以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用する.
	(6) N-301 粒	茎葉兼土壌処理 寒 地. 寒冷地. 温暖地東部の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ. 一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ミズガヤツリ. 一年生雑草, マツバイ, ホタルイ.	田植前後土壌処理をした場合, +20 ~ +25 (ノビエ2.5 Lまで). 〔但し, 寒地は2 Lまで,〕 〔但し, 寒地は〕	㊟ g/a 300 ~ 400 〔但し, 寒地は300〕	壤土 ~ 埴土 (2 cm/日以下) 〔但し, 暖地早期は, 砂壤土 ~ 埴土〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 低温時は葉害の危険があるので, 使用はひかえる.

薬 剤 名		処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
II 1.5. 稚 苗 ・ 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	(6) N-301 粒 (つづき)		温暖地西部の普通期・早期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ミズガヤツリ.	〔寒冷地以北はイネ5L以降.〕 ホタルイ; 発生始~3L. ヘラオモダカ; 発生始~2L. ミズガヤツリ; 発生始~4L.		〔1cm/日以下〕	
			暖地の普通期.	一年生雑草, マツバイ.				
			暖地の早期.	一年生雑草, マツバイ, ミズガヤツリ.				
	(7) MCP・BAS① 粒	茎葉兼土壌処理	寒 地.	一年生非イネ科雑草, ホタルイ, ヘラオモダカ.	田植前後土壌処理をした場合, +30~+45.	㊟ g/a 300 ~ 400	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 浅水もしくは落水散布. 3) 処理後の灌水は48~72時間経過後に行う.
			寒冷地.	一年生非イネ科雑草, マツバイ, ホタルイ.	〔但し, 温暖地は +20~+30. 暖地は +15~+30.〕			
			温暖地以西の普通期. 温暖地東部の早期.	一年生非イネ科雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ.	ホタルイ; 発生揃~4L. ヘラオモダカ・ミズガヤツリ; 発生揃~6L. ウリカワ; 増殖開始前.			
	(10) 2,4-PA・BAS① 粒	茎葉兼土壌処理	温暖地の普通期.	一年生非イネ科雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ, ヒメホタルイ.	田植前後土壌処理をした場合, +30~+35. 〔但し, 暖地は +15~+25.〕	㊟ g/a 300 ~ 400	砂壤土~埴土 (1.5cm/日以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 落水もしくは, 1~2cmの浅水で使用する. 3) 処理後の灌水は48~72時間経過後に行う.
			暖地の普通期.	一年生非イネ科, マツバイ, ホタルイ, ミズガヤツリ.	一年生非イネ科; 生育期. ホタルイ; 発生揃~4L. ミズガヤツリ; 発生揃~6L. ウリカワ; 増殖開始前. ヒメホタルイ; 草丈5~10cm.			
	(12) TIIH-76 (13) 粒	茎葉兼土壌処理	寒地(道央以南).	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	田植前後土壌処理をした場合, 寒地; +20~+30(ノビエ2Lまで). 〔但し, イネ5L以降〕 温暖地東部; +15~+20(ノビエ2.5L).	㊟ g/a 300 ~ 400	砂壤土~埴土 (1cm/日以下) 〔但し, 寒地は, 埴土~埴土(1.5cm/日以下)〕	1) シメトリン混合剤と同様の使用上の注意をまもる. 2) 低温時の使用は葉害の危険性があるのでひかえる. 3) 前処理剤との組み合わせで使用する.
			温暖地東部の普通期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ.				
			暖地の早期.	一年生雑草, マツバイ, ホタルイ, ウリカワ, ミズガヤツリ.				

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
II I 5. 稚 苗 ・ 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	(12) TIH- (13) 76 粒 (つづき)			暖地；+20 ホタルイ；発生 始～2 L. ヘラオモダカ・ ミズガヤツリ； 発生始～4L. ウリカワ；発生 始～6 L.			
(14) TH- 63 (Na) 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒 地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， ヘラオモダカ.	田植前後土壌処 理をした場合， +15～+25 (ノビエ2.5 L まで).	㊞ g/a 300～ 400	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合わせ で使用する. 2) シメトリン混合剤と同 様の使用上の注意を守る.
		寒冷地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， ヘラオモダカ， ミズガヤツリ.	〔但し，寒地は 2 Lまで〕 ホタルイ・ウリ カワ；発生盛～ 5 L.			
		温暖地の普 通期，温暖 地西部の早 期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， ミズガヤツリ.	ヘラオモダカ； 発生始～2L. ミズガヤツリ； 発生盛～6L.			
(16) YH-5 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒冷地，温 暖地の普通 期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ.	田植前後土壌処 理をした場合， +20～+25 (ノビエ2Lまで). 〔但し，寒冷地 ではイネ5 L以 降〕 ホタルイ；発生 始～2 L.	㊞ g/a 300～ 400	埴土～埴土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合わせ で使用する. 2) シメトリン混合剤の使 用上の注意を守る. 3) 低温時は薬害の危険性 があるので使用はさける.
(17) モリネ ートSM 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒 地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダカ.	田植前後土壌処 理をした場合， +20～+30 (ノビエ3.5 L まで).	㊞ g/a 300～ 400	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下) 〔但し，暖 地の普通 期は (1cm/ 日以下)〕	1) 前処理剤との組み合わせ で使用する. 2) シメトリン混合剤の使 用上の注意を守る. 3) 低温時の使用は薬害発 生の危険性があるのでさ ける. 4) ミズガヤツリの場合は， ミズガヤツリに有効な土 壌処理剤（前処理剤）と の組み合わせで使用する.
		寒冷地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ，ウリカワ， ミズガヤツリ， オモダカ.	〔但し，寒地は 2.5 Lまで. 寒冷地以北は イネ5L以降. 暖地の普通期 は，+20～+ 25 ノビエ3.5 L まで.〕			
		温暖地東部 の普通期・ 早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ウリカ ワ，ミズガヤツ リ，ホタルイ， ヒメホタルイ.				
		温暖地西部 の普通期・ 早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ウリカワ， ミズガヤツリ.	ホタルイ・オモ ダカ；発生始～ 5 L. ウリカワ・ヘラ			

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ ― 5. 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	(17) モリネ ート・S M 粒 (つづき)			オモダカ；発生 始～4 L. ミズガヤツリ； 発生始～2～ 6 L. ヒメホタルイ； 草丈10 cm 以 下. 〔但し、暖地の 普通期では、 ウリカワ；3 ～6 L. ミズガヤツリ； 発生揃～6L.〕			
	(18) プロメ トリン・ M C P B 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒地（道央 以南）. 寒冷地. 温暖地東部 の普通期.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ. 一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ.ミズガヤツリ. 一年生雑草，マ ツバイ，ウリカ ワ. 〔但し， ・寒地は+20 ～+30(1.5 L). ・寒冷地以北 はイネ5 L 以降.〕 ホタルイ・ヘラ オモダカ・ミズ ガヤツリ；発生 始～2 L. ウリカワ；発生 始～4 L.	㊞ g/a 300 〔但し， 温暖地東 部は 300～ 400〕	壤土～埴土 (2cm/日 以下)	1) ミズガヤツリ，ホタル イ，ウリカワに有効な前 処理剤との組み合わせで使 用する。 2) シメトリン混合剤の使 用上の注意を守る。 3) 低温時は薬害発生の危 険性があるので，使用は さける。
	(19) MCC・ M-15 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒地（道央 以南）. <				

薬 剤 名		処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ ― 5. 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	(21) KH－ 195 粒 (つづき)				ホタルイ・ウリ カワ；発生始～ 3 L.			
	(22) KH－ 199 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	温暖地東部の 普通期.	一年生雑草，マ ツバイ，ウリカ ワ.	田植前後土壌処 理をした場合， +20～+30 (ノビエ1.5 L まで). ホタルイ；発生 始～2 L. ウリカワ；4～ 5 L.	㊥ g/a 300～ 400	壤土～埴土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合せ で使用する. 2) シメトリン混合剤の使 用上の注意を守る. 3) 低温時は，葉害発生の 危険性があるので，使用 はさける.
	(23) HOK－ 05A 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒 地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダ カ.	田植前後土壌処 理をした場合， +20～+30 (ノビエ1.5 L まで). ホタルイ・ヘラ オモダカ；発生 始～2 L. 〔但し，寒地で はイネ5 L以 降，温暖地東 部では+20～ +25 (ノビエ 1.5 Lまで).〕	㊥ g/a 300	壤土～埴土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合せ で使用する. 2) シメトリン混合剤の使 用上の注意を守る. 3) 低温時は葉害発生の危 険性があるので，使用は さける.
			温暖地東部の 普通期， 早期. (S.48)	一年生雑草，マ ツバイ.		300～ 400		
	(24) HOK－ 05B 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒冷地.	一年生雑草，マ ツバイ，ホタル イ，ヘラオモダカ.	田植前後土壌処 理をした場合， +20～+25 (ノビエ2Lまで). 〔但し，暖地の 普通期は， +16～+25. ・寒冷地はイ ネ5L以降.〕	㊥ g/a 300～ 400	壤土～埴土 (2cm/日 以下) 砂壤土 (1cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合せ で使用する. 2) シメトリン混合剤の使 用上の注意を守る. 3) 低温時は，葉害発生の 危険性があるので，使用 はさける.
温暖地東部の 普通期.	一年生雑草，マ ツバイ，ウリカ ワ，ヘラオモダ カ，ホタルイ， セリ.		ホタルイ；発生 始～2 L. ヘラオモダタ・ ウリカワ；発生 始～5 L. セリ；増殖初期 まで.					
温暖地西部 以西の普通 期，暖地の 早期.	一年生雑草，マ ツバイ，ウリカ ワ，ホタルイ.							
(25) HOK－ 06 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒冷地.	一年生非イネ科 雑草，マツバイ， ホタルイ，オモ ダカ，ミズガヤツ リ，ヘラオモダカ.	田植前後土壌処 理をした場合， +30～+35 〔但し，寒冷地 はイネ5L以降〕.	㊥ g/a 300～ 400	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合せ で使用する. 2) 低温時は葉害発生の危 険性があるので，使用は ひかえる.	

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ ― 5. 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	(25) HOK― 06 粒 (つづき)	温暖地東部の普通期、早期。	一年生非イネ科雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、 <u>ヘラオモダカ</u> 。	一年生非イネ科雑草；生育期、ホタルイ；発生揃～4 L、ウリカワ；発生盛～8 L、オモダカ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ；発生盛～6 L。		〔但し、暖地の普通期では、埴壌土～埴土（2cm／日以下）〕	
		温暖地西部の普通期。	一年生非イネ科雑草、マツバイ、ウリカワ、ホタルイ、ミズガヤツリ。				
		<u>暖地の普通期</u> 。	一年生非イネ科雑草、ウリカワ。				
		暖地の早期。	一年生非イネ科雑草、マツバイ、ウリカワ、ミズガヤツリ。				
	(26) S-28・ SM 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒 地。	田植前後土壌処理をした場合、寒地；+20～+30（ノビエ2Lまで）。	㊥ g/a 300	埴土～埴土（1.5cm／日以下） 〔但し、寒地、温暖地東部は、砂埴土～埴土（1.5cm／日以下）〕	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) シメトリン混合剤の使用上の注意を守る。 3) 低温時は薬害発生の危険性があるので、使用はひかえる。
			寒冷地。	一年生雑草、マツバイ、 <u>ヘラオモダカ</u> 、ウリカワ。			
			温暖地東部の普通期、早期。	一年生雑草、マツバイ、ウリカワ、 <u>ヘラオモダカ</u> 、ヒメホタルイ。			
			<u>温暖地西部の普通期</u> 、 <u>暖地の早期</u> 。	〔但し、寒冷地以北ではイネ5 L以降。〕 温暖地；+15～+25（ノビエ2.5 L）。 ホタルイ・ヘラオモダカ；発生始～2 L。 ウリカワ；発生始～4 L。 ヒメホタルイ；草丈5～10cm。			
(27) BAS― (28) 3510 (酸)粒	茎 葉 処 理	全域の普通期、温暖地東部の早期。	一年生雑草非イネ科、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ。	田植前後土壌処理をした場合、一年生非イネ科；生育期～揃（生育期）。 ホタルイ・ウリカワ・ミズガヤツリ・ヘラオモダカ；発生盛～増殖初期。	㊥ g/a 300～ 600	砂埴土～埴土（1.5cm／日以下）	1) 前処理剤との組み合わせで使用する。 2) 処理後の灌水は、48～72時間経過後に行う。 3) 寒地浅水処理は、浅水処理後3日間止水とする。

薬 剤 名	処理法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意	
II — 5. 適用時期拡大(つづき)	(27) BAS— (28) 3510 (酸)粒 (つづき)	茎葉(浅水処理)	寒地(道央以南),	一年生雑草非イネ科, マツバイ, ホタルイ, ヘラオモダカ.	田植前後土壌処理をした場合, 一年生非イネ科雑草; 発生期～揃(生育期). ホタルイ・ヘラオモダカ; 発生盛～増殖初期.	㊟ g/a 400～600	壤土～埴土(2cm/日以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 寒地浅水処理は, 浅水処理後3日間止水する.
		茎葉(落水処理)	寒冷地.	一年生雑草非イネ科, マツバイ, ウリカワ, ミズガヤツリ, <u>ホタルイ, オモダカ.</u>	田植前後土壌処理をした場合, 一年生非イネ科雑草; 生育期. ウリカワ・ミズガヤツリ・ホタルイ・ヘラオモダカ; 発生盛～増殖初期.	g/a 300～400	砂壤土～埴土(1.5cm/日以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 処理後の灌水は, 48～72時間経過後行う. 3) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は, 使用をさしひかえる.
			温暖地東部の普通期・早期.	一年生雑草非イネ科, マツバイ, ウリカワ, ミズガヤツリ, <u>ホタルイ, オモダカ, ヘラオモダカ.</u>	〔但し, 温暖地以西は発生盛～増殖中期.〕 オモダカ; 発生盛～発生前期.			
			温暖地西部の普通期.	一年生雑草非イネ科, マツバイ, ウリカワ, ミズガヤツリ, <u>ホタルイ.</u>				
			暖地の普通期, 早期.	一年生非イネ科雑草, マツバイ, ウリカワ, ミズガヤツリ.				
(29) BAS— (30) 3510 (Na)液	茎葉(落水散布)	寒冷地.	一年生非イネ科雑草, ウリカワ, ミズガヤツリ, ホタルイ, ヘラオモダカ, オモダカ.	田植前後土壌処理をした場合, 一年生非イネ科雑草; 生育期. ウリカワ・ホタルイ・ミズガヤツリ; 発生盛期～増殖初期.	㊟ ml/a 40～60	全 土 壌	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) 散布は水稻になるべくかゝらないようにする. 3) 処理後の灌水は, 48～72時間経過後に行う. 4) 処理後2日以内に降雨が予想される場合は, 使用をさしひかえる.	
		温暖地東部の普通期・早期.	一年生非イネ科雑草, ウリカワ, ミズガヤツリ, <u>ホタルイ, オモダカ.</u>	〔但し, 温暖地以西は発生盛～増殖中期.〕 ヘラオモダカ・コウキヤガラ; 発生盛～増殖初期. オモダカ; 発生盛～発生前期. セリ; 発生盛～増殖初期.				
		温暖地西部の普通期.	一年生非イネ科雑草, ウリカワ, ミズガヤツリ, ホタルイ, ヘラオモダカ, オモダカ, セリ.					
		暖地の普通期.	一年生非イネ科雑草, ウリカワ,					

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意	
Ⅱ ― 5. 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	(29) BAS－ (30) 3510 (Na)液 (つづき)		ミズガヤツリ, ホタルイ, コウ キヤガラ.					
		暖地の早期.	一年生非イネ科 雑草, ウリカワ, ミズガヤツリ, コウキヤガラ.					
	(31) BAS－ 3510 (酸)水和	茎 葉 (落 水 散 布)	寒冷地.	一年生非イネ科 雑草, ホタルイ, ウリカワ, ミズ ガヤツリ, オモ ダカ, ヘラオモ ダカ.	田植前後土壌処 理をした場合, 一年生非イネ科 雑草; 生育期. ホタルイ・ウリ カワ・ミズガヤ ツリ・ヘラオモ ダカ・セリ; 発 生盛～増殖中 期. オモダカ; 発生 盛～発生揃期. コウキヤガラ; +30日前後.	㊥ g/a 40～60	全 土 壌	1) 前処理剤との組み合せ で使用する. 2) 散布は水稲になるべく かゝらないようにする. 3) 処理後の灌水は, 48～ 72時間経過後に行う. 4) 処理後2日以内に降雨 が予想される場合は, 使 用をさしひかえる.
			温暖地東部の 普通期・ 早期.	一年生非イネ科 雑草, ウリカワ, ミズガヤツリ, ホタルイ, ヘラ オモダカ, コウ キヤガラ, <u>オモ ダカ</u> , 但し, 早期はオ モダカを除く.				
			温暖地西部 の普通期.	一年生非イネ科 雑草, ウリカワ, ミズガヤツリ, ホタルイ, オモ ダカ, ヘラオモ ダカ, コウキヤ ガラ, セリ.				
			暖地の普通 期.	一年生非イネ科 雑草, ウリカワ, ミズガヤツリ, ホタルイ, ヘラ オモダカ, コウ キヤガラ.				
			暖地の早期.	一年生非イネ科 雑草, ウリカワ, ミズガヤツリ, ホタルイ, コウ キヤガラ.				
	(32) MT－ 101 粒	土 壌 処 理	寒冷地以西 の普通期.	一年生広葉雑草, マツバイ, ウリ カワ.	+5～+10. ウリカワ; 発生 始～3 L.	㊥ g/a 300～ 400	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下)	
	(33) TNY－ 53 粒	土 壌 処 理	全域の普通 期.	一年生雑草, マ ツバイ.	－3～+5 (ノビエ1Lまで). 〔但し, 寒地. 寒冷地北部は〕	㊥ g/a 200～ 300	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下)	1) 浅水処理をする.

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意	
Ⅱ ― 5. 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	(33) TNYー 53 粒 (つづき)			+ 3 ～ + 7 (ノビエ 1 L まで).	〔但し、 寒地、 寒冷地 北部は 200〕			
	(42) S M X 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒 地.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダ カ.	田植前後土壌処 理をした場合、 寒地； +20 ～ + 30 (ノビエ 1.5 L まで).	㊦ g/a 300	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合せ で使用する。 2) シメトリン混合剤使用 上の注意を守る。 3) 低温時は、葉害発生の 危険性があるので、使用 はさける。
			寒冷地.	一年生雑草、マ ツバイ、ウリカ ワ、ミズガヤツ リ、ホタルイ、 ヘラオモダカ.	寒冷地； +20 ～ +25 (ノビエ 2 Lま で).		〔但し、寒 地は、 埴土～埴 土 (2 cm/ 日以下)〕	
			温暖地東部の 普通期.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ、 ミズガヤツリ.	〔但し、寒冷地 以北ではイネ 5 L以降、 温暖地； +15 ～ +25 (ノビエ 2 Lま で).			
			温暖地西部の 普通期.	一年生雑草、マ ツバイ、ウリカ ワ、ミズガヤツリ.	ホタルイ・ウリ カワ・ミズガヤ ツリ・ヘラオモ ダカ；発生盛～ 5 L.			
(42) S M X ㊦ 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒冷地.	一年生雑草、マ ツバイ、ウリカ ワ、ミズガヤツ リ、ホタルイ、 ヘラオモダカ.	田植前後土壌処 理をした場合、 +20 ～ +25 (ノビエ 2 Lま で). ウリカワ・ミズ ガヤツリ・ホタ ルイ・ヘラオモ ダカ.	㊦ g/a 300 ～ 400	砂壤土～埴 土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合せ で使用する。 2) シメトリン混合剤使用 上の注意を守る。 3) 低温時は、葉害発生の 危険性があるので、使用 はさける。 4) ミズガヤツリの場合は、 ミズガヤツリに有効な土 壌処理剤と組み合わせて使 用する。	
(43) シメト リン・M CPB2.3 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	寒 地.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ヘラオモダカ.	田植前後土壌処 理をした場合、 +20 ～ +30 (ノビエ 1.5 L まで).	㊦ g/a 300 ～ 400	砂壤土～埴 土 〔但し、寒 地は、 埴土～埴 土 (2cm/日 以下)〕	1) 前処理剤との組み合せ で使用する。 2) シメトリン混合剤の使 用上の注意を守る。 3) 低温時は、葉害発生の 危険性があるので、使用 はさける。	
		寒冷地.	一年生雑草、マ ツバイ、ホタルイ、 〔但し、イネ 5 L 以降.〕 〔寒冷地は、 +20 ～ +25 (ノビエ 1.5 Lまで).〕	〔但し、 寒地は 300〕				

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
II-5. 適用時期拡大(つづき)	(43) シメトリン・MCPB 2,3 粒 (つづき)			ホタルイ・ヘラオモダカ；発生始～2 L.			
	(44) シメトリン・MCPB 2,8 粒 茎葉兼土壌処理	寒 地.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ヘラオモダカ.	田植前後土壌処理をした場合，+20～+30 (ノビエ1.5 L まで). 〔但し，イネ5 L以降.〕 ホタルイ・ヘラオモダカ；発生始～2 L.	㊟ g/a 300	壤土～埴土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意を守る. 3) 低温時は，薬害発生の危険性があるので，使用はさける.
	(45) CG-102 粒 茎葉兼土壌処理	寒 地.	一年生雑草，マツバイ，ヘラオモダカ，ヒルムシロ.	田植前後土壌処理をした場合，+15～+25 (ノビエ2.5 L まで). 〔但し，寒地は2 Lまで〕. ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ，ヒルムシロ.	㊟ g/a 300～400	砂壤土～埴土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤の使用上の注意を守る. 3) ミズガヤツリに有効な前処理剤を使用する.
		寒冷地.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ヘラオモダカ，ミズガヤツリ，ヒルムシロ.	〔但し，寒地は2 Lまで〕. ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリ；発生始～2 L. ヒルムシロ；発生盛～増殖初期. ヒメホタルイ；草丈5～10cm.			
		温暖地東部の普通期・早期.	一年生雑草，マツバイ，ミズガヤツリ，ホタルイ，ヒルムシロ，ヒメホタルイ.				
		温暖地西部の普通期・早期，暖地の早期.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ.				
		暖地の普通期.	一年生雑草，マツバイ.				
	(46) TH- (47) 63 粒 茎葉兼土壌処理	寒 地.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ヘラオモダカ，ウリカワ.	田植前後土壌処理をした場合，+15～+25 (ノビエ2.5 L まで). 〔但し，寒地は2 Lまで〕. ウリカワ・ホタルイ；発生盛～5 L. ミズガヤツリ；発生盛～6L. ヘラオモダカ；	㊟ g/a 300～400	砂壤土～埴土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤との組み合わせで使用する. 2) シメトリン混合剤使用上の注意を守る.
		寒冷地.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ミズガヤツリ，ウリカワ，ヘラオモダカ.				
		温暖地東部の普通期・早期.	一年生雑草，マツバイ，ホタルイ，ミズガヤツリ.				

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
Ⅱ ― 5. 適 用 時 期 拡 大 (つづき)	(46) TH- (47) 63 粒 (つづき)		ウリカワ、ヒメ ホタルイ、 <u>クロ グワイ</u> 。	発生盛～4L。 ヒメホタルイ； 草丈5～10cm。 クログワイ；草 丈5～10cm。			
		温暖地西部 の普通期・ 早期、暖地 の早期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ、 ミズガヤツリ。				
		暖地の普通 期。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ、ウリカワ。				
	(48) <u>ACN</u> 粒	茎葉兼土壌処理 暖地の普通 期。	ウリカワ。	+10～+15 ウリカワ；2～ 4 L。	㊟ g/a 300～ 400	砂壌土～埴 土 (3cm/日 以下)	1) ウリカワの葉期(適期) に注意。 2) 処理後の保水を留意す る。
	(49) 改 良 <u>SC-7616</u> 粒	茎葉兼土壌処理 寒冷地。	一年生雑草、マ ツバイ、ホタル イ。	田植前後土壌処 理をした場合、 +20～+25 (ノビエ1.5 L まで)。 〔但し、イネ5 L以降〕。 ホタルイ；発生 始～2 L。	㊟ g/a 300～ 400	砂壌土～埴 土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤と組み合わせて 使用する。 2) シメトリン混合剤の使 用上の注意を守る。 3) 低温時は葉害発生の危 険性があるので、使用は さける。
(50) MCP・ BAS 粒	茎葉兼土壌処理	寒冷地、温 暖地東部の 普通期。 (S. 49)	一年生非イネ科 雑草、ウリカワ、 ミズガヤツリ、 ホタルイ。	田植前後土壌処 理をした場合、 MCPに準ずる (寒冷地はイネ 5 L以降)。 一年生非イネ科 雑草；生育期。 ウリカワ；塊茎 形成前。 ミズガヤツリ； 発生揃～5、 6 L。 ホタルイ；発生 揃～4 L。	㊟ g/a 300～ 400	埴土～埴土 (2cm/日 以下)	1) 前処理剤と組み合わせて 使用する。 2) 低温時は、葉害発生の 危険性があるので、使用 はさける。
		寒冷地。	一年生非イネ科 雑草、マツバイ、 ウリカワ、ミズ ガヤツリ、 <u>ホタ ルイ、ヘラオモ ダカ、オモダカ</u> 。	田植前後土壌処 理をした場合、 MCPに準ずる。 〔寒冷地はイネ 5 L以降〕。 一年生非イネ科 雑草；生育期。 ウリカワ；塊茎 形成前。 ミズガヤツリ； 発生揃～6L。	㊟ g/a 300～ 400	全 土 壌 (2cm/日 以下) 〔但し、 暖地は 埴土～ 埴土〕	1) 前処理剤と組み合わせて 使用する。 2) 処理後の灌水は48～72 時間経過後に行う。 3) 処理後2日以内に降雨 が予想される場合は、使 用をさしひかえる。
	茎葉兼土壌(落水処理)	温暖地以西 の普通期・ 早期。	一年生非イネ科 雑草、マツバイ、 ウリカワ、ミズ ガヤツリ。				

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意	
Ⅱ 1.5. 適用時期拡大(つづき)	(50) MCP・BAS 粒 (つづき)			ホタルイ・ヘラ オモダカ・オモ ダカ；発生揃～ 4 L.				
	(51) 2,4 PA ・BAS 粒	茎 葉 兼 土 壌 処 理	暖地の普通 期。 (S.48)	一年生非イネ科 雑草，ミズガヤ ツリ。	田植前後土壌処 理をした場合， 2,4 PAに準ず る。 一年生非イネ科； 生育期。 ミズガヤツリ； 発生揃～5， 6 L.	㊞ g/a 300～ 400	砂壤土～埴 土 (1.5cm／ 日以下)	1) 前処理剤との組み合せ で使用する。
		茎 葉 兼 土 壌 (落 水 処 理)	温暖地東部 の普通期。	一年生非イネ科 雑草，ウリカワ， ミズガヤツリ。	田植前後土壌処 理をした場合， 一年生非イネ科 雑草；生育期。 2,4 PAに準 ずる。 ウリカワ；塊茎 形成前。 ミズガヤツリ； 発生揃～5， 6 L. ホタルイ；発生 揃～4 L.	㊞ g/a 300～ 400	砂壤土～埴 土 (2cm／日 以下)	1) 前処理剤との組み合せ で使用する。 2) 処理後の灌水は，48～ 72時間経過後に行う。 3) 処理後2日以内に降雨 が予想される場合は，使 用はさしひかえる。
			温暖地西部 の普通期。	一年生非イネ科 雑草，ウリカワ， ミズガヤツリ， ホタルイ。				
暖地の普通 期。	一年生非イネ科 雑草，ウリカワ。							
Ⅲ 1.2. 乾田直 播	(1) B－ 3015・P 粒	土 壌 処 理	温暖地以西。	一年生雑草。	播種直後 (+0～+3)。	㊞ g/a 400～ 600	埴土～埴土 〔但し，温 暖地西部 は， 砂壤土を 含む。〕	1) タカサブロウ多発地を 除く。
	(2) B－ 3015・P 乳	土 壌 処 理	寒冷地以西。	一年生雑草。	播種直後～イネ 出芽揃まで (ノビエ1Lまで)。	㊞ ml/a 60～ 100 〔但し， 寒冷地 温暖地 東部は 60～ 80〕	砂壤土～埴 土 〔但し，寒 冷地は， 砂壤土を 除く。〕	
	(3) S-28 ・P 乳	土 壌 処 理	温暖地東部， 暖地。	一年生雑草。	播種後， 雑草発生前～始 (イネ 出芽前)。	㊞ ml/a 70～ 120	埴土～埴土	1) 一年生イネ科雑草優先 圃場。
Ⅳ. 畦畔雑 草	(2) P－ 412 水和	茎 葉 処 理	寒冷地～温 暖地。	全草種。	雑草生育期。	㊞ g/a 100～ 150	全 土 壌	1) 畦畔散布上の注意を守 る。

薬 剤 名	処 理 法	適用地域	適 用 草 種	処 理 時 期	使用量	適用土壌	使 用 上 の 注 意
V. 耕 起 (1) MON-39 液	茎葉処理	寒冷地以西.	一年生雑草.	耕起前; 20日~40日.	④ mL/a 25 ~ 75	全 土 壤	1) 稀釈水量は, できるだけ少量で, 茎葉によく付着するように散布する. 2) 周辺の作物に飛散しないように注意する.
(2) OK-621 液	茎葉処理	温暖地以西.	全草種.	耕起前; 20日~7日 (雑草生育期).	④ mL/a 30	全 土 壤	1) 耕起前散布上の注意を守る.
(3) OK-622 液	茎葉処理	温暖地以西.	全草種.	耕起前; 20日~7日 (雑草生育期).	④ mL/a 30	全 土 壤	1) 耕起前散布上の注意を守る.

註: 1) アンダーライン (実線) は本年度拡大された部分 (尚, 薬剤名のアンダーラインは, 本年度はじめて使用基準の作成されたもの).

2) アンダーライン (点線) は, その一部が拡大されたもの.

昭和52年度畑作関係除草剤 試 験 成 績 概 要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和52年度畑作関係除草剤の適用性試験成績
中央検討会の結果を報告する。

本年度供試された畑作関係除草剤は, 定性スクリーニングに3剤, 作用性試験は14剤の36点, 適用性試験に供試された薬剤は29剤でのべ試験点数は63点 (大豆11点, 小豆5点, 菜豆8点, 落花生5点, とうもろこし5点, 陸稲2点, さとうきび2点, ばれいしょ6点, かんしょ6点, こんにゃく4点, てんさい9点) であった。

適用性試験の結果, 「実」, 「実・継」, 「継」の判定を得たものは第1表の通りである。

この外「継?」の判定であった薬剤は, 小豆のS-28乳剤, DAC-893水和剤, てんさい (直播) のBJL-120 [現地混合] 剤, 「中止」の判定であった薬剤は, 小豆のSL-501・A液剤であった。また, スギナ対策のパラコート液剤は, 試験中につき, 今回は一応「保留」ととした。なお, NP-48(Na) 水溶剤のオイル加用については, 大豆・落花生・かんしょのいずれもさらに 試験を継続して検討することとした。

実用化可能と判定された薬剤の使用基準は, 第2表の通りである。

財団法人日本植物調節剤研究協会編

Weed List in Asian-Pacific Area

A 4 版 47 ページ
定 価 2,000 円 (送料別)

東京都港区芝愛宕町1-3 全国農村教育研究会内
発行所 植 調 編 集 印 刷 事 務 所